



那須

9 月号
No.697
2017年(平成29年)



未来への ティーショット

第1回那須高原ジュニアゴルフ大会
ロイヤルカップ

目次

■特集～守ろう交通ルール 減らそう交通事故～	P.2
■タウントピックス	P.4
■カメラスケッチ	P.14
■みんなの広場	P.16
■ほけんだより	P.18
■生涯学習だより	P.21
■読業委員会だより	P.26
■タウンinformation	P.27
■那須自然百景	P.34

守ろう交通ルール 減らそう交通事故



秋の交通安全 県民総ぐるみ 運動を実施します

栃木県では、県民の交通安全意識の高揚を図り、交通事故のない安全で住みよい社会の実現をめざす活動を交通安全県民運動として、計画的かつ効果的に推進しています。

各季に実施する運動のひとつ「秋の交通安全県民総ぐるみ運動」が次の内容で実施されます。

▼期 間 9月21日(休)から30日(出)までの10日間

▼運動の重点

○全国重点

- ・子供と高齢者の安全な通行の確保と高齢運転者の交通事故防止
- ・夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止
- ・全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- ・飲酒運転の根絶



○栃木県重点

「子どもや高齢者に優しい3S運動」の推進

子どもや高齢者の運動特性や電動車いすの性能に対する理解を深めると共に3S運動の実行に努め、特に通学路や病院・高齢者施設の周辺では3S運動を徹底しましょう。

高齢者マークを表示している車両に対する「思いやりのある運転」の励行に努めましょう。

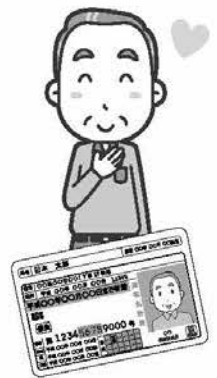
子どもや高齢者等の交通弱者への配慮に努め、「人優先」の交通安全意識を持ちましょう。

※3S運動とは、SEE（見る・発見する）・SLOW（減速する）・STOP（止まる）の頭文字で、運転者や自転車利用者に対して呼びかけ、運転者自身の交通安全意識を高めていく運動です。

「夜間走行中の原則ハイビーム」の徹底

前照灯の早め点灯とこまめな向上向き下向きの切替えを実践しましょう。夕暮れ時から夜間にかけて時間帯に外出する際は、明るい色の服装や反射材用品を身につけ、懐中電灯を持参するなど、ほかの道路利用者からの視認性を高める工夫をしましょう。

▼主唱 栃木県・栃木県交通安全対策協議会



運転免許証を自主返納した方へ

公共交通機関の回数券を支給します

公共交通機関の利用促進と高齢者の運転による交通事故減少を目的として、運転免許証を自主返納した方に、町内の公共交通機関で利用できる回数券を交付しています。

▼支援対象者 町の住民基本台帳に登録されている方のうち、65歳以上の方であって、運転免許証を自主返納し、返納した日から1年を経過していない方

※自主返納とは、本人が自らの意思で運転免許証を有効期限内に返納することをいいます。免許の更新をしなかったことによる失効は対象となりません。

▼支援内容 次の回数券のうち、自由な組み合わせにより15,000円以内で交付します。なお、交付は1人1回限りです。
・那須町民バス
・デマンド型乗合交通(※)



町内を走るデマンド型乗合交通

※デマンド型乗合交通の利用方法が10月から変更になります。詳しくは10ページをご覧ください。

- ・福祉タクシー
 - ・路線バス
- ▼申請および交付の方法
- 受付場所 総務課または各支所
 - (回数券は、後日、自宅に郵送します。)
 - 申請に必要なもの
 - ・免許証返納時に栃木県公安委員会から発行される「運転免許の取消通知書」または「運転経歴証明書」の写し
 - ・印鑑

▼問合せ 総務課防災交通係
☎ 6902



交通安全大会を開催

今年6月、本町と那須塩原市で、立て続けに2件の交通事故死亡事故が発生しました。

これを受けて、7月13日、町文化センターで「那須塩原警察署管内交通安全大会」を開催し、約700人の住民が参加しました。

大会では、住民の交通安全に対する意識高揚と、より一層の交通徳の向上を図るため「交通事故の現況について」と題し、那須塩原警察署の田島交通総務課長から講話がありました。また、「大道ボリス」に扮した同署戸井田警部補が、歌やクイズを交えて「交通安全ショー」を披露しました。

その後、本町と那須塩原市の小中学生4名が交通安全に関する作文を朗読し、最後は交通事故防止に取り組む決意を新たにすため、那須塩原地区交通安全協会副会長土田陽吉さん（千振）の交通安全宣言によって大会を締めくくりました。



土田陽吉さん(千振)

ドン・パン・ドスン

黒田原小学校 二年

平山 大喜



シートベルトって、まごい。いつもほのびたりちんぱりするの、あの日のスリッパで、ぼくがまえにとび出しようになるとき、ギョッとかたまっ、ぼくをささえてくれました。

とてもさむいおさでした。

「大ちゃん、いくよ。」

「はい。あれ、ゆきがふってるのかな。」

「みぞれたよ。ゆきになってもまだいじょうぶ。スタッドレスタイヤだから、だいじょうぶ。シートベルトした。」

「したよ。出ばあ。」

まだほいくえん生だったぼくと、お母さんは、おしちまんの家へむかいました。

と中の、大きくカーブした下りのさかみちでした。お母さんの「アッ。」

というこえのすぐあとに、

「ドン、パン、ドスン。スローモーションみたいに見えるました。こわすぎて、こえも出ませんでした。」

はじめのドン、山にぶつかっ。た音。つぎのパンは、ほんたいがわのガードレールにぶつかっ。た音。さいごのドスは、またほんたいがわの山に、つっこんだ音。きつと、三びょうくらのじかんだったのに、三じかんのうにながくかれました。

(下キ、下キ、下キ、下キ。)

ぼくのしんぞうの音しか、聞こえませんでした。そのしんぞうが口からとび出しようでした。お母さんも、ふるえています。

お母さんは、かたまっ。たぼくのシートベルトをはずして、ぼくをかかえて、ブルブルふるえています。

「いたいところ、ない。どこかぶつけなかった。」

ぼくは、びくりましたのと、こわかったので、こえがでませんでした。

お父さんが、たすけに来てくれるまで、ぼくの体をしんぱいしながら、二人でふるえています。

もし、ほんたいがわから車が来ていたら、ぼくも、お母さんも、それからはんたいがわの車の人も、たいへんなことになっていたみたいです。あのじかん、あのば

那須中央中二年三森綾香さんは、通学で毎日使う自転車の交通ルールについて考えた作文を読んでくましました。



しよて、たいこう車が来なかったのは、きせきだと、お父さんが言っていました。

車は、なかせないくらいこわれてしまったけど、シートベルトのおかげで、ぼくもお母さんも、どこもけがをしませんでした。

そのあと、ずっとぼくは、車にのるのがすごくこわかったです。ゆっくりはしっていても、こわかったです。

どんなに気をつけていても、もしかししたら、またこうゆうじこにあうかもしれない。だからぼくは、かならず車がうごくまえにシートベルトをします。

今、元気に小学生になれて、ほんとうによかったです。

(原文のまま)



次期一般廃棄物最終処分場の建設に向けて環境保全協定が結ばれました

津久井大田原市長(中央左)、渡辺源一郎自治会長(中央右)

私たちの家庭で発生したごみは、一般廃棄物として収集され、大田原市と那須町では、これを「広域クリーンセンター大田原」(大田原市若草)に運び焼却処分をしています。焼却処分によって発生する焼却灰等は、焼却残さとして「黒羽グリーンオアシス」(大田原市川田)に運搬され、埋立処分されています。平成9年度より埋立てが始まった黒羽グリーンオアシスは、平成33年度末で期限を迎えるため、新たな一般廃棄物最終処分場を建設する必要があります。有識者会議の意見を踏まえ協議を行い、地元のご理解・ご協力を得た上で、次期施設の建設地は、町内の吉田地区に決定しました。

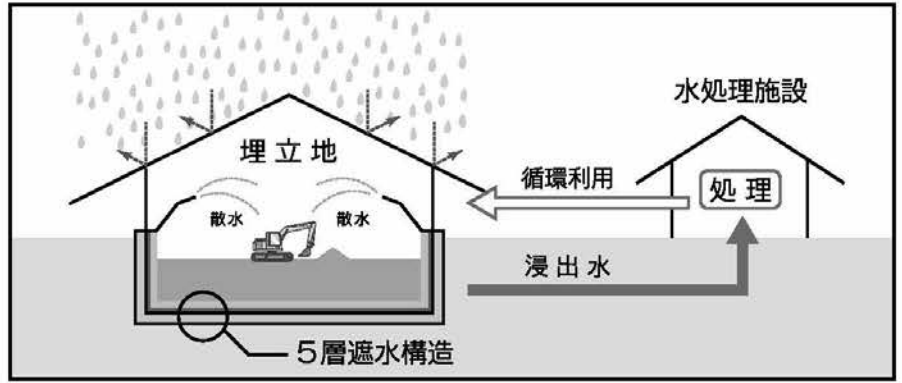
平成29年8月8日、逃室第6自治会と那須地区広域行政事務組合、那須町、大田原市が環境保全協定を締結するための調印式が行われ、環境保全と公害の未然防止について等が記載された協定書が交わされました。

那須地区広域行政事務組合では、安全・安心な施設を目指し、最終処分場の整備を進めています。

▼問合せ
○那須地区広域行政事務組合
☎0287-65-3611
<http://www.nasukouiki.or.jp>
○環境課環境衛生係
☎726916

私たちが家庭で発生したごみは、一般廃棄物として収集され、大田原市と那須町では、これを「広域クリーンセンター大田原」(大田原市若草)に運び焼却処分をしています。焼却処分によって発生する焼却灰等は、焼却残さとして「黒羽グリーンオアシス」(大田原市川田)に運搬され、埋立処分されています。平成9年度より埋立てが始まった黒羽グリーンオアシスは、平成33年度末で期限を迎えるため、新たな一般廃棄物最終処分場を建設する必要があります。有識者会議の意見を踏まえ協議を行い、地元のご理解・ご協力を得た上で、次期施設の建設地は、町内の吉田地区に決定しました。

- ▶施設には様々な安全対策が講じられます。
- ・埋立地の上を屋根で覆い、廃棄物の飛散や臭気の拡散を防ぎます。
 - ・廃棄物に触れた水は地下水や河川への流出を防ぎ、施設内の水処理施設で適切に処理し、循環利用します。
 - ・処理水や地下水の水質分析を定期的に実施し、公表します。



開催期日	地区名	会場
9月21日(木)	田代	田代地区構造改善センター
9月25日(月)	室野井	横沢公民館
9月28日(木)	池田	池田地区農村センター
10月2日(月)	大沢	旧大谷保育園
10月5日(木)	伊王野	伊王野基幹集落センター
10月10日(火)	美野沢	蓑沢生活改善センター
10月12日(木)	芦野	芦野基幹集落センター
10月17日(火)	富岡	富岡集落センター
10月18日(水)	寄居	寄居集落センター
10月25日(水)	稲沢	稲沢地区集落センター
10月31日(火)	湯本	高原公民館
11月2日(木)	大島	大島地区コミュニティセンター
11月6日(月)	逃室	逃室地区集会施設
11月9日(木)	夕狩	夕狩公民館
11月14日(火)	成沢	成沢地区集落センター
11月16日(木)	高久	那須町農村婦人の家
11月20日(月)	田中	田中地区コミュニティセンター
11月27日(月)	黒田原	ゆめプラザ・那須

「まちづくり懇談会」を開催します

町民の皆さんの意見を行政に反映させるために、まちづくり懇談会を開催します。

地域のため、町のため、未来のため、皆さんの今の想いを町長と語り合ってみませんか。

今年はその課題にきめ細やかに対処できるよう町内18会場で開催します。

事前申込みは不要です。どなたでも参加できますので、お気軽にお越しください。

▼開催期日・会場
左表のとおり

▼時間 午後6時30分から2時間程度

▼問合せ 総務課広報広聴係
☎726901



第2回「山の日」記念全国大会in那須2017が開催されました



「山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝すること」を大会理念とする第2回「山の日」記念全国大会in那須2017が8月11日に本町で開催されました。

本町は、町の北西部に主峰茶臼岳を中心に雄大な那須連山を有し、年間を通し多くの観光客が訪れています。また南東部の八溝山地の豊かな自然から林業が発展する等、山から多くの恩恵を受けています。

町文化センターで行われた記念式典・シンポジウムには約900人が参加、余笹川ふれあい公園で行われた歓迎フェスティバルには約8,000人が訪れ、「五感で満喫『とちぎの山』」を体感しました。

▶歌手の加藤登紀子さんと那須野が原少年少女合唱団による「山はふるさと」の大合唱が行われました。



▶メインアトラクションの演劇では、父と子が那須の自然を五感で感じて山を楽しむ、山の恩恵への感謝が表現されました。



▶式典最後は那須中央中生徒と県内ボーイスカウト・ガールスカウトによる山の日メッセージ。「山と共に生きること」を宣言しました。



▶次期開催地は鳥取県の大山。大会のシンボル「山の日帽」が引き継がれました。



中央が平井鳥取県知事、中央右から伊木米子市長と竹口大山町長、中央左が福田栃木県知事



▲余笹川ふれあい公園では、県内女子高生による「山の日ファッションショー」ほか、自然と親しむワークショップ等、多くのイベントが開催されました。



▶パネリスト4名が「山とともに人と自然がつながる社会へ」をテーマに語りました。



左から小林千穂さん(山岳ライター)、小林綾子さん(女優)、山田健さん(サントリー(株))、野口健さん(登山家)



農家民泊の受け入れが 始まりました

大田原市を中心とする定住自立圏構想グリーンツーリズム推進事業として、7月21日(金)〜23日(日)東京都江戸川区立二之江中学校の2年生220名が林間合宿で、大田原市、那珂川町、那須町を訪れました。

町内では今回初めて、3軒の農家が農家民泊の受け入れを行い、じやがいも掘りや収穫した野菜の袋詰め、ハウスの張替補助などの農作業をはじめ、虫取りや川遊び、地元のお祭りへの参加など、8名の生徒がそれぞれの家庭や地域ならではの農村生活を体験しました。都会で生活する子どもたちは、お米や野菜のおいしさに感動し、夜の暗さや虫の豊富さに戸惑い、農業の大変さだけでなく喜びや自然の大切さに触れることができ、かけがえのないひと夏の経験になったようです。

初めて農家民泊を受け入れた農家も「親戚の子ども達が来たようで、思っていたよりも大変ではなかった」、「ご飯がおいしいと何杯もおかわりをしてくれるので、作り甲斐があった」、「集落内の子どもたちが少なくなってきた中、「元気をもらえた」、「これからも農業を頑張ろうという気持ちになった」などの感想がありがた、次回の受け入れを心待ちにしている様子でした。



農家民泊 受入農家 大募集

農家民泊とは、主に首都圏や海外からの学生3〜4名を自宅で受け入れ、農業などの体験や受入家庭との団らんを通して農村地域での生活を体験してもらうものです。町内で農家民泊の受け入れをするためには、保健所から特別簡易宿所の許可を受けた後、(株)大田原ツーリズムに農家民泊の登録を行い、受入時期を希望することで実施が可能となります。

「子どもが好き」、「地域を活性化させたい」、「人と人のつながりを大切にしたい」と思っている方、農家民泊に興味のある方、ぜひ那須町農業公社にご相談ください。

農家民泊Q&A

- Q1 申請手続きは面倒ではありませんか？
- A1 県や消防署、保健所等への申請は那須町農業公社が代行します。
- Q2 農家民泊はボランティアですか？
- A2 体験や宿泊には対価が発生するため、受け入れた人数分だけ収入を得ることができます。
- Q3 家が古いのですが改築をしなければなりませんか？
- A3 空いている部屋で受け入れが可能です。ありのままの農村生活が何よりの体験です。
- Q4 農家でなくても農家民泊の登録は可能ですか？
- A4 他の農家の協力で農業体験が実施できれば、農家民泊の登録は可能です。
- Q5 その他のようなメリットがありますか？
- A5 都会の子どもたちとのふれあいを通して、農村生活の素晴らしさを再発見できるだけでなく、その土地のファンづくりにもつながるため、地域の活性化につながります。

園芸用パイプハウス整備費用を助成します

水稲から園芸作物への作付転換や園芸作物の作付拡大を図るため、園芸用パイプハウスの整備を予定されている農家の方へ購入費用の一部を助成します。

▼対象者 アスパラ、うど、花きなどの園芸作物の生産に必要な60㎡(約18坪)以上のパイプハウスを整備する農家

▼交付金額 園芸用パイプハウス整備費用の1/3(上限50万円)

▼問合せ 農林振興課農政係
☎(72)6911

全国共進会 選出 おめでとうございます

上川地区の太平博和さん、長南寺地区の大森政宏さんが飼育する黒毛和牛が、9月7日から11日に宮城県で開催される全国和牛能力共進会に栃木県代表として選出されました。

全国和牛能力共進会は5年に一度開催される和牛の全国大会です。県内の模範となる飼養技術で育てられた自慢の愛牛、コンディションを整えて大会に臨んでください。



▼問合せ 那須町農業公社

☎(73)5545



町中学生代表 広島平和記念式典へ

8月6日に開催された広島平和記念式典へ参加するため、町中学生派遣団が8月4日から6日まで広島市を訪問しました。10名の中学生が町の代表として訪問し、72年前の原爆の実相に触れ、被爆者体験談を聞き、心で感じた貴重な経験を通して、平和への誓いを新たにしました。

原爆ドームを見て

鈴木勝斗（那須中央中 3年）

原爆ドームを目の前にしたとき、言葉が失いました。写真と実物にはあまりにも大きな差がありました。まるで大きな壁が目前にあるかのように、私は自然と引き寄せられました。建物がこれ以上ない悲惨さを語り、私はしばらく状況を飲み込めませんでした。

渋井萌笑子（那須中央中 1年）

原爆ドームを見て感じたことは、あんなに大きくてしかも石でできた建物が、一瞬であんな姿になつてしまうほど、原爆の威力がすごかったということです。世界のどの国でも建物があんな風になつてはいけないと思います。一刻も早く世界中にある核を無くしてほしいです。

平和記念資料館を訪ねて

中島葉月（那須中 3年）

私は、平和記念資料館で当時の被爆された方の写真や、爆風で原形を留めていない物などを見てきました。そのものや写真が当時の悲惨さを物語っています。もう二度とこのような悲惨なことが起こらないように、次世代へと原爆の怖さを継承していきたいです。

田中純鈴（那須中 2年）

私は、初めて平和記念資料館へ行って、原爆当時についての展示物を読んだり、たくさん写真を見たりしました。特に印象に残っているものは、被爆した三輪車やガラスびん、8時15分で止まった時計です。見ただけで苦しくなり、当時の悲惨な状況が理解できました。

被爆者体験談を聞いて

野本悠太郎（那須中 3年）

今回、被爆者体験談で國分良徳さんにお話を伺い、そのお話がとてもリアルで原爆が投下されたときの人々の苦しみや悲しみが、目をつぶれば浮かんでくるようでした。僕は、もっとたくさんの人にこの話を聞いてもらい、平和の尊さや核の恐ろしさを感じてほしいと思いました。

大島彩葉（那須中央中 2年）

初めて被爆者の方にお話を伺って、被爆者の人はそのときどんな気持ちだったのかということを知りました。今まで資料などを見ていても「こんな思いだったのかな」という想像でしかなかったのが、本当の気持ちというものがわかって良かったです。

平和記念式典に参加して

中村暹稀（那須中央中 3年）

平和記念式典に参加して、人々が平和な世界を築こうとしていることを知ることができました。国や県の代表者がスピーチをし、世界中の人々が核のない世界を築くことが大切だと感じた式でした。世界には核を持った国はあるけれど、少しでも多くの核を減らす努力は必要です。

中尾くるみ（那須中 2年）

平和記念式典に参加して、私は「平和」について深く考えることができました。式典には世界各国の方々が来ていて、平和を祈っていました。黙とうの時間になると、会場が静まり返り、幸せな日常を過ごせることに感謝しなければいけないと思いました。

サブリーダーとして

大島康平（那須中央中 3年）

今回サブリーダーとして、リー

ダーの補助を3日間通してしっかりとすることができたので良かったです。とても貴重な体験をすることができて充実した3日間でした。ここで学んだことを少しでも多くの人たちに伝えられるように、これから頑張っていきたいと思っています。

リーダーとして

田代万葉（那須中央中 3年）

リーダーとして、私は9人の仲間と、戸村さん、大森さんと広島に行き、原爆について学んできました。今回、リーダーという立場で、強い行動と発言をすることができました。それができたのも9人の仲間のおかげです。この仲間たちに出会えて、本当に良かったです。

9月4日(月)から8日(金)まで、町役場町民ホール(1階)に、団員の活動報告や感想を展示します。また、9月24日(日)に余笹川ふれあい公園で開催される那須九尾まつりでも活動内容を展示するほか、団員による活動紹介を行いますので、ぜひご来場ください。

▼問合せ 学校教育課
☎726922

平成30年度 保育園新入園児募集

保育園名	電話番号	開園時間	乳児保育 (0歳児)
黒田原第1保育園	72-0753	7時30分～19時00分	○
黒田原第2保育園	72-0306	7時30分～19時00分	
伊王野保育園	75-0306	7時30分～18時30分	
那須高原保育園	76-3198	7時30分～19時00分	○
千振保育園	77-0727	7時30分～18時30分	
大同保育園	63-6028	7時30分～18時30分	
高久保育園	63-1371	7時30分～19時00分	○

※乳児保育は生後満6ヶ月を過ぎて7ヶ月日から
※開園時間は延長保育を含む

町立保育園では、
平成30年度新入園児を募集します。
※平成30年度途中から入園を希望する方
を含みます。

- ▼受付期間 10月2日(月)～31日(火)
- ▼入園基準 仕事や病気などのために、保護者が日中に保育できない等、次の①～⑧のいずれかの保育の必要性の理由が必要です。
 - ①月48時間以上の就労、②妊娠・出産、③保護者の病気または障がい、④親族の介護・看護、⑤災害復旧、⑥求職活動、⑦就学、⑧虐待・DV
- ※既に保育園を利用している子どもについては、下の子どもも育児休業中の継続利用が可能です。

- ▼申込方法 ①入園申込書、②支給認定申請書、③就労証明書等(保育の必要性を証明する書類)を、入園を希望する保育園、または子ども未来課に提出してください。
- ※平成27年4月から「子ども・子育て支援新制度」がスタートしました。保育園等の利用にあたり、保育の必要性に応じた支給認定を受ける必要があります。
- ▼申込書記布場所 各保育園及び子ども未来課
- ▼保育料 児童の年齢及び世帯(父母等)の町民税の課税状況によって決定されます。
- ▼利用時間
 - 保育標準時間 午前7時30分から午後6時30分
 - 保育短時間 8時30分から午後4時30分
 - ※保育の必要性等の理由により利用時間は異なります。
 - ※延長保育あり
- ▼問合せ 子ども未来課保育係 ☎(72)6959 または各保育園



平成29年10月1日は 就業構造基本調査



働く人の明日をつくる。

総務省統計局
都道府県・市区町村

総務省統計局では、10月1日現在で就業構造基本調査を実施します。この調査は、日本の就業・不就業の実態を明らかにすることを目的に、統計法に基づき実施する国の重要な統計調査です。調査結果は、雇用政策や経済政策などの企画・立案のための基礎資料として活用されます。皆さまに、より便利にご回答いただくため、パソコンやスマートフォンを使って簡単にインターネットで回答することも可能となっていますので、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いします。

▼問合せ 企画財政課総合政策係 ☎(72)6906

自動車税を納めて いない方へ

大田原県事務所は、自動車税滞納者への滞納処分「勤務先調査・給与や預貯金の差押え等」を強化しています。

まだ自動車税を納めていない方は、大至急納付してください。諸事情ですぐに納付できない方は、必ず当所まで連絡の上、納税相談してください。

▼問合せ
栃木県大田原県事務所収税課
☎0287-23-4171

差押の例



平成30年度新入園児募集(認定こども園・幼稚園)

支給認定区分	対象となる子ども	利用できる主な施設等
教育標準時間認定 (1号認定)	満3歳以上で、教育を希望する場合	認定こども園、幼稚園
保育認定 (2号認定)	満3歳以上で、保育を希望する場合	認定こども園、保育園
保育認定 (3号認定)	満3歳未満で、保育を希望する場合	認定こども園、保育園、地域型保育

那須町内の認定こども園・幼稚園では、平成30年度の新入園児を9月1日(金)から募集しています。

▼町内認定こども園・幼稚園
○認定こども園
認定こども園那須幼稚園
(1号・2号認定利用可)

○幼稚園
那須みふじ幼稚園
(1号認定利用可)

▼入園資格 3歳以上(平成24年4月2日生)平成27年4月1日(生)
※年度途中でも満3歳の誕生日の翌日から入園できます。

▼入園手続き 教育や保育を受けようとするときは、教育・保育の必要性の認定(支給認定といいますが)を受けたいうえで、認定こども園・幼稚園を利用することになり、支給認定区分によって手続き方法が異なります。

▼預かり保育の実施 保育時間外に保護者の希望により、午後6時まで実施します。また、夏・冬・春の長期休業中は午前8時から午後6時まで実施しています。

▼2歳児預かり 2歳児については「預かり保育」として預かり、満3歳の誕生日をもって入園と

なります。

▼保育料 保育料については、認定区分、保護者の所得に応じた支払いとなり、町において決定いたします。

※通常保育料とは別に、園によっては独自の費用負担(教材費、父母会費、卒園準備金、スクールバス費等)があります。

▼問合せ
認定こども園那須幼稚園
☎0184

http://nasuyouchien.lacocan.jp/

☎1350

http://www.nasu-mfuji.ed.jp/

子ども・子育て支援新制度について

平成27年4月1日から、幼児期の学校教育や保育等の子育て支援を総合的に推進するため、『子ども・子育て支援新制度』がスタートしました。

▼利用手続きが必要です

幼稚園や保育園等の利用にあたり、教育・保育の必要性に応じた支給認定を受ける必要があります。

なお、幼稚園によって、新制度に移行している園と移行していない園があります。移行していない

園を希望する場合は、直接幼稚園にご相談ください。(町内2施設は新制度に移行しています)

▼手続きの流れ

- 1号認定利用希望の場合
- ①幼稚園等に直接利用希望申し込みをします。
- ②幼稚園等から入園内定を受けます。
- ③幼稚園等を通じて支給認定申請をします。
- ④幼稚園等を通じて支給認定証が

- ⑤幼稚園等と契約します。
- 2号・3号認定利用希望の場合
- ①町に支給認定申請と利用希望申し込みをします。
- ②町から支給認定証が交付されます。
- ③認定こども園等の状況によって町が利用調整を行います。
- ④利用先の決定後契約となります。

▼新制度の問合せ こども未来課
☎06959

3町村の中学生が交流しました



今年で4年目の「体験の風をおこそう運動」3町村交流事業が、8月7日から8日に行われました。これは、本町と西郷村、下郷村の中学生の交流と体力増進を目的に実施しており、これまでの3年間は、三本槍岳登山を実施し、この山名の由来の故事を山頂で再現しました。

今年、西郷村雪割橋付近の溪谷でキャニオニング体験を行いました。大自然の中で思い切り楽しみ、お互いの距離を近づけることができました。また各校の情報交換も例年以上に盛り上がり、3町村の中学生同士の交流がさらに深いものとなりました。

これからも3町村の生徒会が、お互いに刺激し合いながら、よりよい学校づくりを目指していきます。

10月1日
から

デマンド型乗合交通の利用方法が変わります

10月1日から那須町デマンド型乗合交通の目的地の追加や運行時間等の変更を行います。
変更内容は次のとおりです。ご利用の際は、お間違いのないようお気を付けください。

【黒田原行き】

今までの黒田原地区を中心とした目的地側停留所のほかに、新たに4カ所の停留所が追加され、「黒田原・イオンタウン行き」と名称を変更します。また、塚原医院の開設・移転に伴い、10月1日から「塚原医院」目的地停留所を廃止します。

追加する目的地 ①イオンタウン那須 ②那須高原病院 ③柄沢医院 ④菅間記念病院

新たに追加される4カ所の目的地へは1日2便、既存の目的地へは1日4便から5便に増えます。

※菅間記念病院の利用については60歳以上の方及び身体障害者手帳、療育手帳所持者等に限りま。

【広谷地行き】

これまで「火・木・土」の運行としていましたが、「月～土」に運行日を変更します。

新たに運行を開始する「月・水・金」は1日3便、現在運行中の「火・木・土」は1日4便から5便に増えます。

【運行区域及び運行日】

①黒田原・イオンタウン行き ・北部運行区域 月・水・金 ・南部運行区域 火・木・土

②広谷地行き ・北部運行区域 月～土

【運賃】

①普通運賃

・一般（高校生以上） 500円 ・中学生、60歳以上 300円 ・身体障がい者、療育手帳所持者等 無料

②菅間記念病院利用

・60歳以上の方 1,000円 ・身体障がい者、療育手帳所持者等 700円

【利用方法】

①事前に利用登録が必要です。 ②乗車希望日の前日午後5時までに電話で予約します。

※既に登録カードをお持ちの方には、順次新しいカードをお送りいたします。（9月下旬発送予定）

※利用について、お困りの方、使い方が分からないという方はお気軽にご相談ください。

自宅側		黒田原・イオンタウン行き				自宅側	
行きの便		帰りの便					
自宅側停留所に設定された出発目安時刻	到着予定時刻			出発時刻			帰宅時は希望により自宅までお送りします。
	黒田原駅	イオンタウン那須	菅間記念病院	菅間記念病院	イオンタウン那須	黒田原駅	
	8:20	8:50	9:00	12:20	12:30	8:30	
	10:30	10:50	11:00	14:20	14:30	10:30	
	12:50					12:50	
	14:50					14:50	
	16:50					16:50	

自宅側		広谷地行き		自宅側	
行きの便		帰りの便			
自宅側停留所に設定された出発目安時刻	到着予定時刻		出発時刻		帰宅時は希望により自宅までお送りします。
	道の駅 那須高原友愛の森				
	7:10		9:00		
	9:00		11:20		
	10:50		13:20		
	12:40		15:20		
	15:30		16:20		

網掛けの部分は、火・木・土のみ運行

■問合せ ふるさと定住課公共交通係 ☎72-6955

9月18日は敬老の日

町の長寿者番付

今年の招待者は4,720人
(昭和18年4月1日以前生まれの方)

9月18日は、お年寄りを敬愛し、長寿を祝う「敬老の日」です。

今年は9月2日から20日にかけて、町内22の会場で「敬老会」が開催されます。

地区の社会福祉協議会や各施設において、趣向を凝らした演出で招待者の長寿を祝います。

皆さん、いつまでもお元気で、長生きしてください。

東				西			
氏名	年齢	地区名	番付	氏名	年齢	地区名	
松本 貞子	108	本町3	横綱	井上 セイ	106	上瀬礎	
平山 トメ	104	西田	大関	人見 キワ	103	噴水原	
田中 ふみ	103	柏台	関脇	矢島万寿の	103	大日向	
後藤 初枝	103	上ノ原	小結	高久ゆま子	102	秋山沢	
若松 アサ子	102	新夕狩	〃	秋元 キヨ	102	蕪中	
笹水 イキ	102	秋山沢	前頭	濱野 久江	102	北沢	
水村 金子	101	秋山沢	〃	平山 タカ	101	小島2	
大森 花兄	101	新夕狩	〃	高久 ツギイ	100	北沢	
白鳥 ハマ	100	時庭	〃	大森 誠治	100	北条	
佐藤 タニ	100	上町	〃	薄葉 チヨ	100	梓	
飯村 茂義	100	黒田団地	〃	大島 仙藏	100	上ノ原	
薄井 トク	100	下町	〃	青木 登志	100	横町上	
吉田 ハナ	100	相生町3	〃	渡邊 ハナイ	100	柏台	
岸 東道	100	常民夕狩	〃	吉成 初枝	99	養沢	
成田 ヒサ	99	上ノ原	〃	平山 クニ	99	茶白	
高久 サト	99	田中	〃	小林 タマ	99	旭町	
井上 アキ	99	梓	〃	渡邊 キソ	99	秋山沢	
森 元雄	99	下町	〃	大平 ヒロ	99	広谷地	
小泉 なみ	99	上ノ原	〃	沼井 チセ	98	沼野井	
白井 アキ	98	上町	〃	藤巻 ツ子	98	大同	
酒井 文子	98	松田	〃	人見 りエ	98	新夕狩	
平山 ハツヨ	98	新夕狩	〃	鈴木 ふ志江	98	音羽町1	
岩崎 かる	98	東観	〃	薄葉 克美	98	下町	
遠藤 シゲノ	98	上ノ原	〃	生田 テイ	98	相生町2	
大塚 森種	98	よささ	〃				

※この名簿は8月28日現在のものです。(年齢は4月1日現在)また、ご本人またはご家族の同意を得た方を掲載しています。

■問合せ 保健福祉課福祉係 72-6917

1日も早く下水道に接続しましょう!

9月10日は 下水道の日です



下水道マスコットキャラクター
「スイスイ」

臨時福祉給付金(経済対策分)の 申請を受け付けています

- ▼支給対象者 次の①～④の要件をすべて満たす方
 - ①平成28年1月1日時点で那須町に住民票のある方
(申請先は、平成28年1月1日時点でお住まいの市町村です。)
 - ②平成28年度の住民税が課税されていない方
 - ③平成28年度の住民税課税者の扶養親族等でない方
 - ④生活保護の受給者でない方
- ▼支給額 1人につき15,000円(1回のみ支給)
- ▼申請方法 該当すると思われる

下水道は、快適な生活を確保し良好な水環境を創造するために必要不可欠な生活基盤施設です。町では、安心・快適で暮らしやすい環境づくりのため、下水道整備を進めております。

○快適な生活を
下水道は、浄化槽やくみ取り式トイレなどの設備と比較すると、維持管理の手間が少なくすみます。

○早期の接続を
下水道法により、下水道を利用できる区域にお住まいの方は、下水道にすみやかに接続することが定められております。早期の接続にご協力ください。

下水道に接続する際は、町が指定した「排水設備指定工事店」に工事を依頼してください。

- 融資あっせん制度の利用を
工事の費用負担の軽減を図るため「水洗便所改造資金融資あっせん制度」があります。これは、工事に要する資金を金融機関から融資してもらい、その利子を町が負担する制度です。まだ接続していない方はこの制度を利用し、一日も早く下水道に接続しましょう。
- 下水道を正しく使いましょう
排水管の詰まりや、悪臭の発生設備の故障を未然に防ぐため、台所に野菜くず、油を流さないようにし、水洗トイレにはトイレレットペーパー以外の紙、異物を流さないようにしましょう。
- ▼問合せ 上下水道課下水道業務係 ☎726919
- 方へは、申請書を郵送していただきます。届いた申請書に必要事項を記入押印し、返送してください。
- ▼申請期限 10月13日(金)
※申請書が届いても、支給の対象にならない場合があります。
※支給対象者の要件をすべて満たしているにもかかわらず、申請書が届いていない場合は、お問い合わせください。
- ▼問合せ 総務課総務係 ☎726901

カセットボンベやスプレー缶の適正な処理について



カセットボンベやスプレー缶は、中身を使い切ってからごみ収集に出してください。中身が残っている状態で出すと、ごみ収集車やごみ処理施設での引火や破損事故の原因となります。次のことに注意して、適正に出してください。

- 中身を確認しましょう
缶を振って中の音を聞いてください。
- 使い切れないものは中身を出しましょう。
- ※中身を空にすることが難しい場合、製造メーカーに問い合わせください。
- ▼問合せ 環境課環境衛生係 ☎726916

今月の那須町消防団



○ポンプ性能検査が実施されました

8月20日(日)に、那須消防署の敷地内にてポンプ性能検査を実施しました。

この検査は、消防団に配備されている自動車ポンプ14台、小型動力ポンプ34台の性能が、安定して維持されているのかを確認するために行われるものです。

消防職員及び消防ポンプの取扱い業者の立合いのもと、放水の圧力測定、真空機能の測定、不良箇所点検やポンプの取扱説明を実施しました。

- ▼問合せ 那須町消防団事務局 (那須消防署内) ☎725923

